

日本小児がん看護学会 教育委員会主催 第21回小児がん看護実践セミナー報告

2025年8月23日（土）京都にて、「予期せぬ知らせ、こどもにどう伝える？」というテーマで小児がん看護実践セミナーを開催しました。このテーマは昨年の小児がん看護学会学術集会のリサーチカフェ企画「今、わたしたちが取り組むべき課題」で上位に挙がり、現地とオンライン総勢76名の方にご参加頂きました。

講師の京都府立医科大学病院小児看護専門看護師の竹之内直子さんからは「こどもにとってのバッドニュース～こどもは何をどう知りたいのか、知りたくないのか～」と題し、海外や最新の知見も踏まえたお話を、大阪母子医療センターがん看護専門看護師の中長容子さんからは「病院で出会うこどもの姿～事例を通して考える～」と題し、具体的な実践からのお話を伺いました。



現地開催のグループワークでは、参加者の経験や悩みを基に、こどもの気持ちをどのように尊重し支援していくか、親や医療者も様々な感情を抱く中、どのように対話をしていくか、語り合い、学びを深めました。



（教育委員会委員 熊谷祐美）